

# Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX で問題を解決するために DebugView 出力を集めて下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[望ましいログファイルを集める DebugView の使用](#)

[ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい](#)

[デバッグツールを起動させて下さい](#)

[見られる問題を再生して下さい。デバッグツールは多くのレコードを記録する必要があります 出力を保存して下さい](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料に Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX クライアントによって基づく問題を解決するのに DebugView ユーティリティを使用する方法を記述されています

## 前提条件

### 要件

システムでダウンロードされる持 DebugView アプリケーション確かめて下さい。

参照ダウンロード リンクはこの資料の下部ので available です

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco ビデオ サーベイランス Media Server 6.x/7.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 望ましいログファイルを集める DebugView の使用

DebugView 出力は ActiveX クライアントのためのログファイルとして検討することができます

この資料はこの4つのステップでツールを使用することのプロセスを説明したものです。

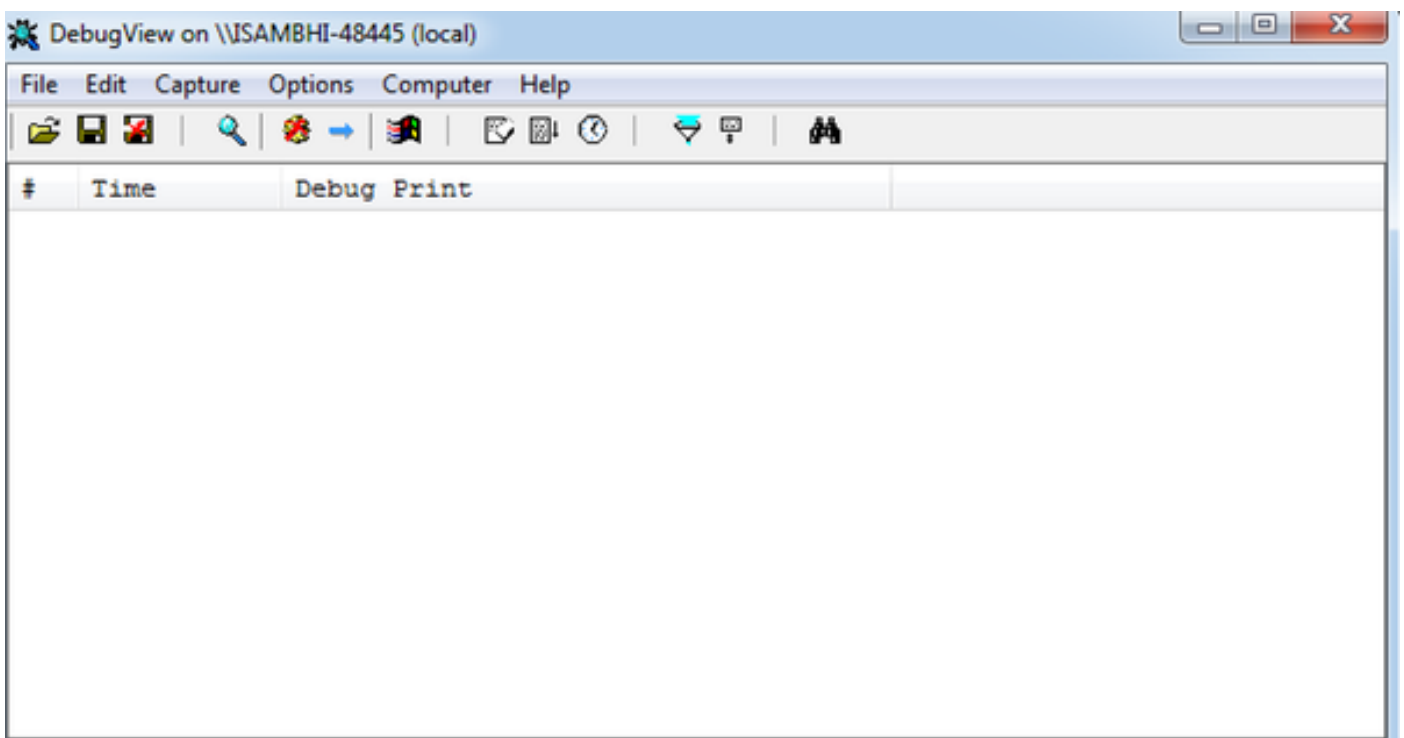
- ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい
- デバッグツールを起動させて下さい
- 見られる問題を再生して下さい。デバッグツールは多くのレコードを記録する必要があります
- 出力を保存して下さい

## ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい

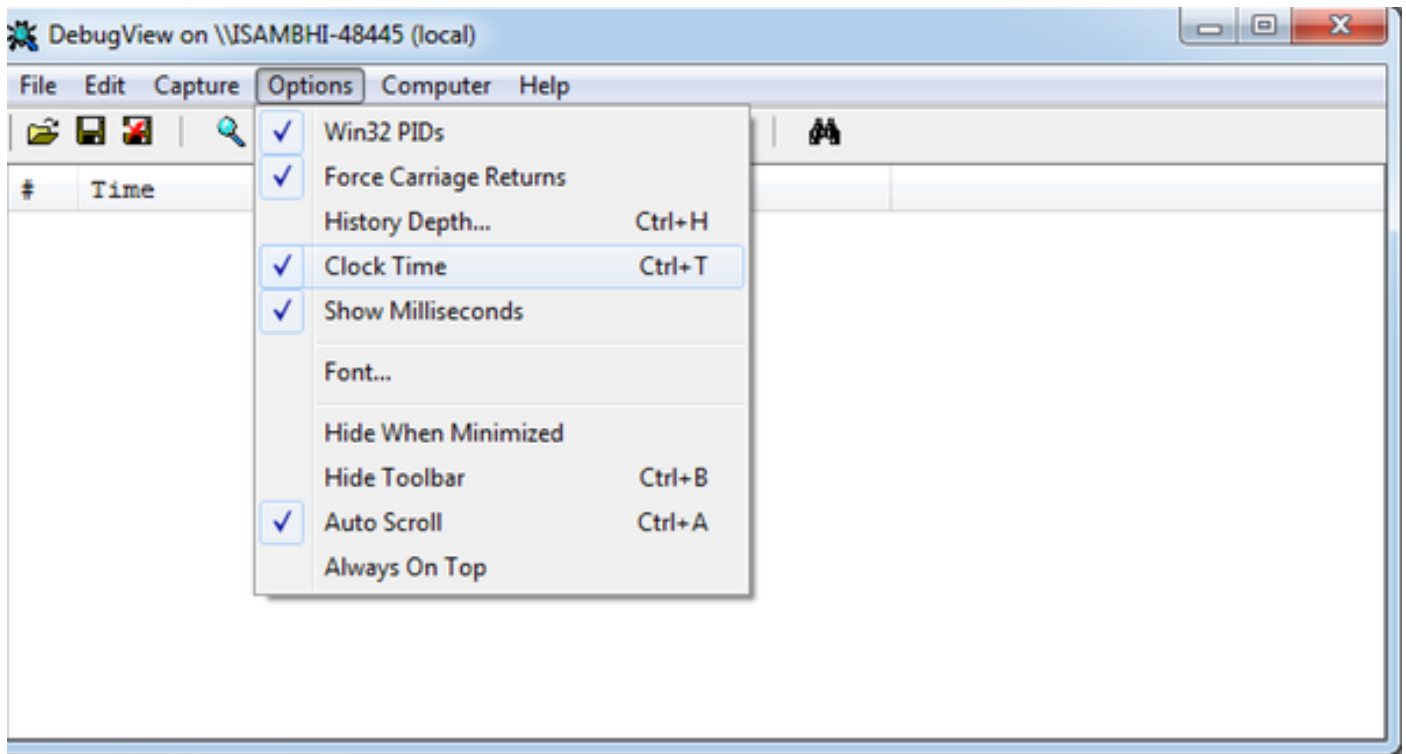
開いた余分アプリケーションを余分望ましくないログ出力を生成します持っていることは、それ故にツールを実行する前に閉じられるすべての不必要なアプリケーションがあることを推奨します

## デバッグツールを起動させて下さい

DebugView アプリケーションを解凍し、起動させて下さい

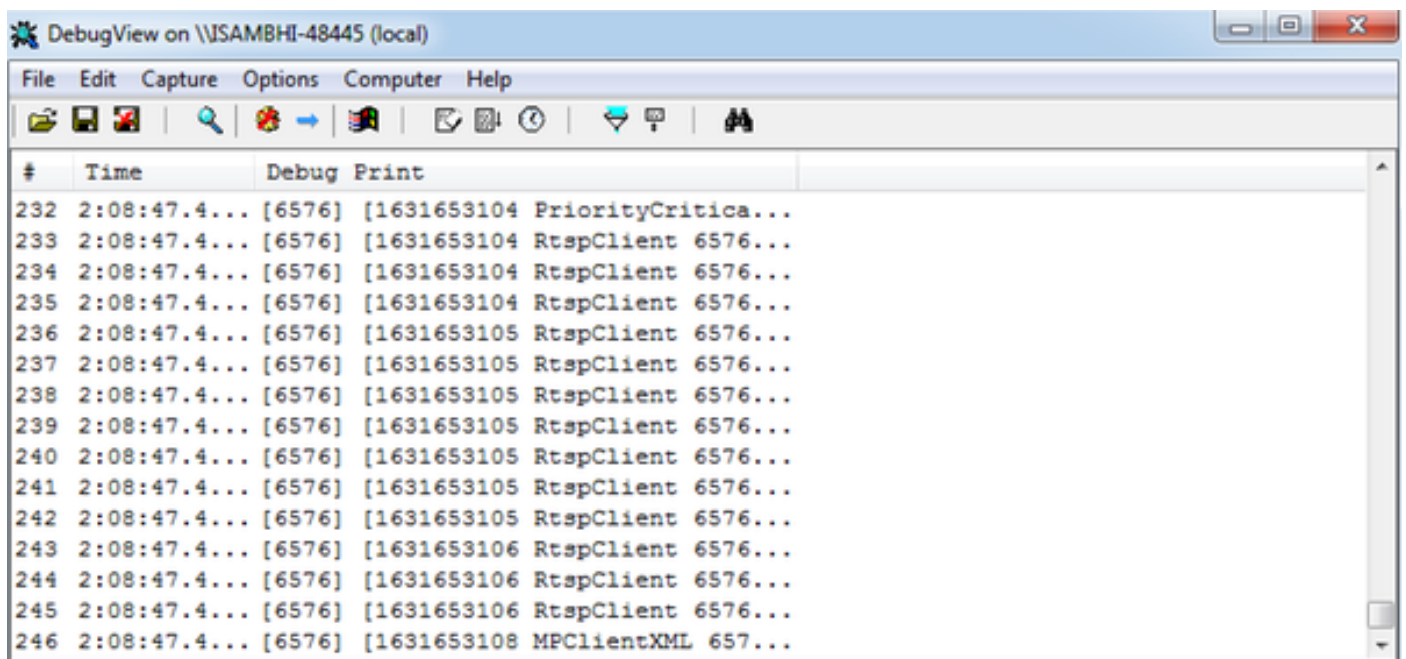


時刻を有効にし、ミリ秒を示すオプションを『Options』をクリックし、探して下さい



見られる問題を再生して下さい。デバッグツールは多くのレコードを記録する必要があります

問題を、DebugView アプリケーションの出力を見るべきです再生して下さい



出力を保存して下さい

ように File > Save の順にクリックし、望ましい位置で出力を保存して下さい

